

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表：2024年3月31日

事業所名：AIAI PLUS 花見川

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		1		
	2	職員の配置数は適切である	4		1		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3		3	個室が複数ある。運動の部屋・学習の部屋といったように、用途に分けて使うことも可能で、プログラムの入替もできる。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3		3		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0		6		第三者評価機関については現在、設置していない。本社担当部署の指示を仰ぐ。
適切な支援 の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		2	動画による研修受講体制や、本部職員による巡回研修をしている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3		3	アセスメントに関しては、保護者からの聞き取りのほか、適応行動尺度の一部項目、健康に関する記載、感覚と動作に関するもの等の複数を行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4		2		ツールだけでなく運用面の標準化を図る。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3		3		カンファレンスに基づいて検討の機会を用意できるようにしたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		1	マニュアルありきではなく、利用児童に応じて、内容を変更できるよう、個々の指導員に工夫の裁量が任されている。体格や能力、発達課題に合わせて、運動内容を変更する等の工夫をしている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4		2	シーズンに合わせて課題とプログラムを設定している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4		2		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3		3		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3		3		実施ができていない日があるため、必ず実施できるようにオペレーションを見直す。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		0		
18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	2		4			
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	3		3			
関係機関や 保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3		3		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6		0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				該当者なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4		2		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3		3		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		2	利用児童の状態について、必要に応じて助言に乗ってもらっている。	研修の受講については機会があれば検討したい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3		3	交流イベントのようなものはないが、障害の有無は関係なく、いろいろな児童が毎日通っている。	
	27	(地域自立支援協議会等へ積極的に参加している	0		6		そのような場が持たれれば出席をしたい。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6		0	利用の度に保護者と話す時間が設けられている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0		6		保護者への支援として、事業所内相談支援を検討する。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		0	契約時に必ず管理者から行われる。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		0	相談には毎回利用の度に乗り、内容が込み入ったものについては別途 児発管が対応する。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0		6	学校のPTAIに当たるようなものはないが、31番にあるように、グループワーク等の開催を企画したい。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		2		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6		0	月に一回、AIAI PLUS 通信を発行している。連絡先等も、TEL以外にLINEなど複数を活用している。	
	35	個人情報に十分注意している	6		0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0		6		要望があれば検討したい。
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3		3		定期的な訓練を実施する必要がある。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3		3		定期的な訓練を実施する必要がある。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		0	虐待に関するチェックリストを全職員が定期的に実施している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		1	個別支援計画に「保護者への同意書を作成した上で身体拘束を行う」旨が記載されており、同意書がない場合は身体拘束はしないことになっている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		2	事業所内は食べ物の持ち込みは禁止となっている(水筒を除く)。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4		2		